

「電子記録データを用いたデータマイニングによる急性期管理患者の予後に関する検討」 に対するご協力をお願い

研究代表（責任）者長田 大雅
研究機関名 慶應義塾大学医学部
（所属） 麻酔学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

当院集中治療センターに入室された患者さん

2 研究課題名

承認番号 20231023

研究課題名 電子記録データを用いたデータマイニングによる急性期管理患者の予後に関する検討

3 研究組織

研究代表機関

慶應義塾大学医学部麻酔学教室

研究代表者

（助教） 長田大雅

4 本研究の目的、方法

我々がICU入院中の患者さんを管理している記録（バイタルサインや、血液検査データ）をデータマイニング手法という方法で解析することで、急性期における患者さんの予後に関連する様々な要因を調査します。予後に寄与する要因を解明することでICU入室患者の患者管理に活かすことを目的としています。

5 協力をお願いする内容

通常診療を行っているうえで行っているモニタリングや血液検査データ（詳細は下記）を電子カルテより得たうえで、解析を行って様々な要因と予後の関係を調査させていただきます。

具体的なデータとしては

- a) 患者関連情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、内服薬、検査結果

- b) 手術・検査関連情報:主診療科名、手術対象疾患名、術式、手術時間
- c) 麻酔関連情報:ASA-PS（米国麻酔学会術前状態分類：手術患者の全身状態を6クラスに分類する。数値が大きいほど状態が悪い）、気道確保関連情報、麻酔方法（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔、区域麻酔の併用の有無）、麻酔時間
- d) 処置関連情報
透析条件・時間、気管支鏡検査、心機能検査、脳機能検査
- e) 電子記録の時系列情報
投与薬剤、バイタルサイン(血圧、心拍数、酸素飽和度、体温)
- f)急性期アウトカム（死亡、在院日数、合併症、人工呼吸管理期間）

があります。これらのデータは、今回の研究のために特別に計測するものではなく、研究の参加には影響を受けません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2030年3月31日

7 外部への試料・情報の提供

特にありません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、本研究への参加やデータ供与の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

研究実務責任者 慶應義塾大学医学部 麻酔学教室 長田 大雅

連絡先 03-5363-3107、ojikino2.a5@keio.jp

以上